

謹賀新年 今年の目標を、スタッフやご家族で掲げられた方も多いのではないでしょうか？
発明研究会の会員でもあるベットフード協会の越村義雄様より、ベット業界の現状と未来を
視野に入れた挨拶文を寄稿していただきました。厳しい現状の中に、私たちのできる工夫や
アイデアを夢に変えて、次世代の獣医師たちが「獣医さんになってよかった」「楽しい」「生きが
いがいっぱいある」と元気に仕事ができる時代にみんなで盛り上げていけたらと思います。



NEWS・1

2015年 年頭ご挨拶（東京）

明けましておめでとうございます。

皆様には清々しい新年をお迎えに
なられたことと、お慶び申し上げます。



本日は、多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、また、ベット関連業界のリーダー並びに報道・出版関係の皆様をお迎えし、ベット関連業界の賀詞交歎会が、このように盛大に執り行われることは、主催者の一人として、大変光栄に存じます。

長寿大国と言われる日本では、健康に一番关心がございます。女性の平均寿命は86.6歳ですが、健康寿命は74.2歳です。一方、男性の平均寿命は80.2歳、健康寿命は71.2歳です。ベットフード協会では、ペットが人間の健康寿命にどのような影響があるか、政府の健康寿命算出方法と同じ手法で、昨年末第三者機関で調査を行いました。

結果は、男女ともに「犬飼育者で犬を散歩に連れて行く人たち」の健康寿命が「ペット飼育経験なし」の方々より、長いことが判明しました。特に、女性の場合はそれが顕著で、2.8歳、約3歳も長いことが分かりました。家の中で旦那様と一緒にいるより、犬と外で散歩する方が健気になると女性が実感しているのかどうか分かりませんが、大変興味深い調査結果になりました。この結果を受け昨年12月22日に第1回「人とペットの健康づくり」マーケット研究会を発足させました。ペットとの暮らしを重要なセルフメディケーションと位置付けていただきました日本チエンドラッグストア協会様始め、業界内外から70名の方々にご参加いただきました。3月末までに約5回の研究会を集中して開催しますが、後20名様までご参加いただけますので、ご関心のある方は、本日を含め16日までに当協会までお申込みください。

平成26年度全国犬・猫飼育実態調査では、犬の飼育頭数は1,034万6千頭、猫は995万9千頭となり、飼育率は、犬が15.1%、猫が10.1%でございました。今後犬猫を飼育したいという飼育意向率は、共に飼育率の約1.6倍あり、今後の増加に期待できます。新たにベットの飼育促進に向けてあつたらよいと思うサービスに関する調査も行いましたが、「旅行中や外出中の世話代行サービス」、「生命保険料などが減額になるサービス」、また、昨日の朝日新聞夕刊で関連記事が掲載されましたが、「高齢で飼育不可能な場合の受

入施設提供サービス」などがあげられました。これらは、今後新たなビジネスチャンスと共に業界のマーケット拡大につながるものと確信しております。

2007年、犬の年齢で、1歳未満の仔犬の割合は7%でしたが、一昨年が3.5%、昨年は3.4%と半分になっております。人口も8年連続減少し、労働人口、消費人口も減少しています。こうした中で、業界9団体で構成されるベットとの共生推進協議会が、従来ベットフード協会が監修作成し、ご好評を得ておきました「笑顔あふれるベットとの幸せな暮らし」のパンフレットを合同で発行することになりました。当協会が引き続き監修の役割を担いますが、このパンフレットが全国民に行き渡れば、飼育頭数は再び上昇すると考えています。

また、本年4月2日から5日にかけて、東京ビッグサイトにおいて、業界初の試みとして、「インターベット」、「2015ジャパンペットフェア」、「FCIジャパンインターナショナルドッグショー2015」の3つのイベントをオールジャパンとして同時期開催することとなりました。

英文では、All Japan Pet Expo in Tokyo、略称AJPETでございますが、ご来場者が飛躍的に増加することが見込まれ、また日本の歴史上最もベットが集結することになると期待されます。4月4日の土曜日には、インターベットの会場で、日本獣医師会様のイベント、セミナーが計画されております。

今年は、戦後70年という節目の年でもございます。お正月のNHKテレビで、「今後日本が最も大切にすべき社会は？」という世論調査が紹介されました。1位が「戦争のない平和な社会」で40%、2位が「心にゆとりがある社会」で13%でした。正にベット業界には大いなるチャンスがあると思いました。秋田県知事とブーチン大統領が友好の証として、ベットをお互いにプレゼントしたことを思い出しますと、「ペット産業」は「平和産業」であり、心にゆとりと癒しを与える「心のゆとり・癒し産業」でもあります。加えて、様々なデータから「健康産業」、「教育産業」、究極的には「幸せ創造産業」と言っても過言ではありません。各家庭が何らかのベットと暮らす社会、また、少子化・高齢化の進展に伴い、ベットと共に楽しく豊かに暮らせる社会を皆様と共に創造して参りたいと思います。

結びに当たりまして、皆様のご健勝とご繁栄を祈念申しあげますと共に、本年が羊年に因んで、穏やかで平和な、心にゆとりのある一年になりますことを祈りつつ、年頭のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

越村 義雄

NEWS・2

アドバイス・アイデアの宝箱



JAHAsのセミナーで、株式会社「あるえぱ」取締役会長のお話を聞く機会がありました

新しいリーダーシップで拓く動物病院の未来 藤原直哉先生

① がんばってる会社より楽しんでる会社

が、業績を伸ばし社員がいい仕事したなあと自己表現ができると自然と社員の創造性が湧き上司に伝わってくるそうです。社長や管理職が上から目線でなく第三者の喜びを自分の喜びにできる人、嬉しい風を入れる人だとイキイキした会社になるそうです。

② 1:29:300の法則

1つの大きな事故は、単独で起きたのではなく、29の小さなトラブルが隠れていて、300の身近かな問題がひそんでいる結果だそうで、この身近かな300を見つけて防ぎましょう。

③ 経営を成功させる違いは人がつくる

他と一味違うオリジナリティ・魅力は、新しい大型機械とかではなく、人がつくるそうです。スタッフ・飼い主さんに自分のファンをつくると、その人たちがその病院の雰囲気をかもし出してくれるそうです。目の前の仕事を一生懸命こなし、動物に目が行くだけでなく、その先の飼い主さんの気持ちにまで心がゆき届く仕事をしましょう。

④ 組織を成功に導くもの4つ

- 1 / 達成文化…自分で決めた目標を達成できる仕事がある
- 2 / 自己表現文化…想像力・質・満足に価値を置くことができ、自分らしい仕事ができる
- 3 / 人間性価値文化…メンバーが支え合い助け合い協力することに関心がある
- 4 / 提携文化…自分の分野だけでなく他のグループとオーブンマインドで興味を広げていける

⑤ やる気の方程式

- A / やる気を失わせる要因 (指示・細々とした規則・監督・仕事の条件・地位・仕事の安定性・命令) →これを取り除く作業を継続 →やる気につながる!!
- B / やる気を高める要因 (成長と学習・仕事を達成すること・認められること・自由裁量・興味深い仕事・責任が増える・ほめること・挑戦できる) →下心ではなく人間関係のツボを押さえて波長を合わせると、あとは本人次第で伸びる

⑥ 終わりなき改善・イノベーション

お金をかける、機械を新しくする、人数を増やすことだけでは達成できず、一番は人材・イノベーションとは技術革新ではなく、これまでとちょっと違ったやり方で新しい気持ち、新しい市場、新しいファンを開拓する、わくわく感を育てることかも!?

人への「ありがとう」の反対は「あたりまえ」だそうです。スタッフに家族に飼い主さんに感謝の気持ちで、わたしたちの病院・仕事にイノベーションを巻き起こしましょう。

♥動物医療発明研究会では小さなアイデアを大きなイノベーションにつなげる、お手伝いをしています。♥楽しい原稿、チチ自慢のアイデアを常時募集中ですので、どうぞよろしくお願いします!



狭い病院をどう使うか?

かなやま動物病院(群馬県太田市)

毒島美登里先生

かねじま

開業して、はや22年が経ちました。投稿の依頼があったとき、皆さまのような素晴らしいアイデアがないのでとても困りました。宏子先生から「病院の工夫したところを書いて~!」と言うご助言で、自分なりに少し工夫したところを書くことにしました。



- ① 病院内を土足禁止に: 犬の足跡は、あまり汚れないで掃除が楽。
② 移動式戸棚で中間に上から開くようにして物を置いたり書いたりできるように: 電源もつけてあるので充電器を置き検眼鏡などを充電。ICUも移動式にして一番視れるところへ移動可能。部屋を必要に応じて模様替えをして使えるので楽しいし便利。中段の上から開く扉は大切な機材を入れて、パニックになって飛び回る動物の被害を避けられる。
③ 入院室の一つを移動用のケージに: 大型犬の入院時、踊り場にケージを出して、そこを入院室にした。(ストレス軽減)
④ 対面式書庫: 小さい机を置いてすぐ本が読めるようにした。一人こもれて隠れ家みたいで癒される。
⑤ ロフト: ベットシーツ、折りたたみケージや今使いたくないけれど、よく使う物を収納。
⑥ 外に超大型犬用のお家: 飛び出さないように、また盗まれないように工夫した。(犬たちは外が見えて、とても嬉しそう!) □私のような、ホームドクターに徹している田舎の獣医さんも必要ですよね!?

*写真:左から①②⑤

2月21(土)~22日(日)は、バシフィコ横浜へ集合!

第11回日本獣医内科学アカデミー学術大会が、いよいよ来月2月21~22日に開催されます。

中山正成先生(21日)、清水邦一・宏子先生(22日)の講演を、ぜひともご拝聴ください。



先生方の声

SAMI NEWS No.38を
読まれてのご感想など

♥新規入会の先生がたのいろいろなアイデアを「なるほど~!」と感心させられながら、興味深く読ませていただきました。

♥いつもイラストやホットするコーナーが掲載されているのが嬉しい、今回は内科学アカデミーなどみらいの建物や周辺イラストが「わあ!そのまま☆」と面白かったです。

♥SAMI NEWS No.38が届きました。

毎回、楽しく素晴らしい出来です。平野健先生は古くからの友人です。川嶋先生は私と同じ奈良市ご出身なのですね。しかもすぐ近所です。



脊椎・脊髄 疾患的 回想録*1

中山 正成先生



筆者は今年で、開業40年を迎える。一般診療を行なうながら脊椎・脊髄疾患に興味をもってきました。歩けなくなったり抱えて来院されるオーナーの心配を少しでも和らげることができないか、犬が再び歩けるようになってくれるためにどうすればよいか、若い時から日々探究してきた。犬が元気に走り回り、オーナーとともに楽しい生活ができるように手助けすることが、臨床獣医師の使命であると思うからである。そのためには、過去に発表された研究を学び、現在の知識、技術を高めることが大切と思っている。現在行われている検査法、治療法を精査し進歩させることができるように課せられているミッションとも思う。

今回、「椎間板ヘルニアの未来形」特集が企画されるに当たって、本稿脊椎・脊髄疾患について回顧的に記述してみたいと思う。（＊原文のまま複数回に分けてご紹介します）

1. 黎明期

開業当初（1974年）に遭遇した椎間板ヘルニア（と思われる）の症例に対しては、探査的X線撮影で、椎間板の石灰化、椎間板スペースの狭小化について議論していた。また、神経学的検査の知識もなく、犬の臨床例の系統だった神経学的検査はまだ確立されていなかった。歩けなくなったりダックスフントを前になすすべもなかった。脊髄造影検査が人医療で使用されていたが、犬での報告は見当たらなかった。また造影剤は非常に高価であったことも行われない理由の一つであった。

そのような中、椎間板にポールベアリングを打ち込む治療法が発表されたが理論的とはいはず、すぐに否定された。また、「首つり法」という治療法で、下頸を両手で保持して犬を振り回して治すという発表があった。当時この発表は、日本臨床獣医学長賞を受賞している。しかし、「首つり法」を追試して悪化させた例も多かった。当時先輩や友人の獣医師は、この方法に対し、疑ってみる者、否定する者も多かった。

2. 脊髄造影検査

そのような混沌とした中、Dr.Joe P. Morgan, Dr.Sue Baileyが来日し（LLLセミナー1981）、脊髄造影検査の講義が行われた。造影剤は、水溶性陽性造影剤で、それまでの空気を使用した陰性造影法（Dandy:1919）、油性陽性造影剤（1950年代）と異なり、検査後のけいれん発作、頭痛などの副作用が少ないメトリザマイド（metrizamide;1970年代中頃）であった。化学試薬として入手し、0.25μMリポアフィルターで除菌して使用するというものであった。人用に市販されている製品よりも安くて、ごく希にけいれん発作が見られたが、その後ますます使用されることになった。

水溶性陽性造影剤の改良が進み、現在では水溶性非イオン性低浸透圧性陽性造影剤が主流となり、けいれん発作は見られなくなった。

Dr.Joe MorganはHansenによる椎間板ヘルニアの病態を詳しく教えてくれた（Hans Jorgen Hansen: A pathologic anatomical interpretation of Disc degeneration in dogs: Acta orthopaedica, vol. XX, 4, 1952）。椎間板物質の脱出（Hansen I型）、椎間板物質の突出

（Hansen II型）、そして線維織の対称性肥厚（Disk bulge）があると、詳しい病態を教授してくださいました。椎間板造影検査によってタイプ分けが可能と教えられた。最近では、MRIが使用されるようになり、激しい運動中などに機械的ストレスがかかり、変性していない椎間板から少量の椎間板物質が非常に速い速度で脱出することによって脊髄に衝撃を与える外傷性椎間板ヘルニアが報告されるようになった。（McKee, Vet Rec.2010, Henke, Jam Vet Med Ass.2013）

椎間板造影検査は、脊髄も膜下腔内に造影剤を投与して脊髄の輪郭をX線画像で描出する検査で、その投与部位は、大槽または腰椎5-6間に勧められている。

筆者の考えでは、大槽に投与することは、延髄に針を入れば死亡する危険がある。また、複数の圧迫病変があれば、頭側の圧迫部位で造影剤が止まり、残りの造影剤は脳室へ流れ、尾側の脊髄は造影されない。よって、脊髄造影検査のための大槽穿刺は意味がないと言える。腰椎5-6間に穿刺して造影剤を投与すれば、複数の圧迫病変があっても乗り越えて頸髄まで造影できるという結論を（尾側には腔が存在しないので）多くの臨床経験から得た。

MRIの出現によって、脊髄造影検査は臨床的価値が薄れてきたと勘違いをされている傾向がある。しかし脊髄造影検査は、MRIでは描出できないものを映し出すことができる。頸髄などの動的圧迫の観察（動態撮影）を姿勢の変化で観察することができる。

また、脊髄造影後にCT(myelography CT)を撮像することによってさらに多くの情報が得られる。人医療では、国の難病に指定されている黄色靭帯骨化症や後縫靭帯骨化症、神経根近位の小さな腫瘍、脊柱管狭窄症、馬尾・神経根との相互関係などの描出が可能である。そして、外科的治療法の選択に必要な情報が得られる。

奈良県立医科大学医学部の大学院に在籍していたとき、前述の脊髄空洞症に遭遇したので、医学部の放射線学教室をX線フィルムをもって訪ね、教えを願った。若い医師は、「獣医学では、まだ脊髄造影をやっているのか。CT、MRIでなんでも解るよ。」と言っていた。

その後人医療で、脊髄造影を行わないでCT、MRI検査の情報のみで手術を行った外科医が、手術中に神経根に腫瘍を見つけあわてて術式を変更せざるを得なかつたケースが発生した。訴訟にもなり、それ以降脊髄手術を予定する場合は必ず脊髄造影を行うようになった。

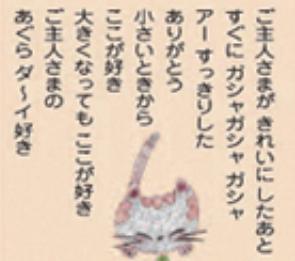
このように脊髄造影は脊髄疾患を診断するうえで第一選択の診断法であり、MRIよりも描出力に優れている面が多く認められる。しかしMRIは脊髄内の病変描出には威力を發揮することは間違いないので、脊髄疾患を疑う場合、合理的に検査法を選択すべきである。

（つづく）

ニャンコのつぶやき

ゴー部 3

ワンコのつぶやき



ゴー部 3



佐藤大猫病院（三郷市）佐藤 利作

【新入会員・自己紹介】



アトム動物病院
永富 丈先生
(永富 恵利圭先生)

昭和43年7月15日生
長崎県佐世保市出身
官崎大学
獣医学科 生理学研究室 卒

福岡県の動物病院で11年間勤務～その後
福岡夜間救急動物病院で約1年間勤務

平成19年2月 アトム動物病院 開業 獣医師1名・看護師3名

☆病院の紹介

当院は第一種低層住宅専用地域で、まず公聴会を開いて近隣の方々に同意をいただき、なおかつ病院部分は50m以下と決められていますので設計の段階から建設会社の方々とやり取りを重ねました。

おかげで狭いながらもそれぞれスタッフの導線は充分に確保でき支障なく仕事ができます。狭いおかげで機器の購入時にも事前に寸法などを計り当院に敵しているか、必要かなどを熟慮するようなり不必要な用具は、ほとんどないと思います。

私は、得意・専門分野はありません。ただ的確な診断をして当院での単独治療ができるか、他院の先生との連携が必要かな

どを（他院に迷惑をかけずに）
判断し飼い主さんにインフォーム
ドできるように努
力しています。



〒857-0103

長崎県佐世保市原分町69-4

電話:0956-40-9045



新入会員

株式会社 共立商会／東京・目黒区でペットのフードや便利なグッズを販売している会社

動物医療発明研究会のホームページ。会員病院の登録もできます。
hp@ispecial.co.jp



会員の病院・施設名、郵便番号
住所、TEL&FAXとホームの
ページアドレスを掲載します。
ご希望の場合は、「SAMI-HP
掲載希望」と明記して、データを
メールにて、上記アドレスまで
お送りください。
(運営受託:株式会社アイ・スペシャル)

☆今後したいこと・目標

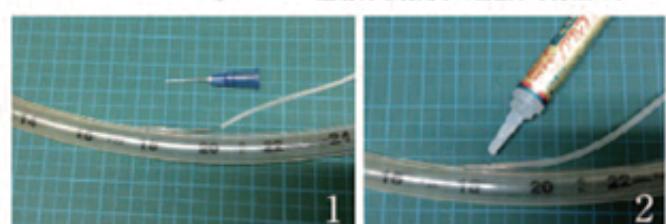
- ・動物の命を通じて地域の方々とつながりを持ちたい
- ・妻と旅行したい
- ・もっと工夫して仕事のしやすい病院にしたい

☆過去の発明・発見・アイデア自慢

私、気管チューブで空気注入チューブ（エアルーメンの根元から）切れて、それを修理する方法（とても丈夫になります）を考えて実践しています。

当院のメーカーは
SHERIDAN

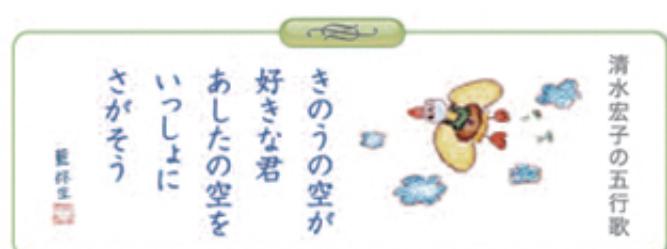
他の器具でも
同様の切断で
あれば
応用できると
思います



当院の気管チューブにあう針が23Gなので、23Gx1か23Gx5/8を使います。ライターなどでプラスチック部分を焼き溶かして針だけにします。（写真：1）

気管チューブとエアルーメンを注射針でつなぎあわせて切断されていた部分を連結させてアロンアルファーを一滴たらして乾燥させます。（写真：2）

こうすると以前よりも壊れにくい強固なものとなります。



清水宏子の五行歌



動物医療発明研究会事務局では
お役立ちのアイディアやエピソードを
随時募集しています。メール、FAX、
郵便でも受け付けていますので
お気軽にお寄せください。

SAMI NEWS 39号 発行日:2015年1月26日

発行所:動物医療発明研究会事務局

発行人:会長 清水邦一／編集人 伊藤隆

事務局:230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内

メール:sah@vet.ne.jp

FAX:045-583-3594 (電話:045-583-3738)